

土地の所在

高松市飯田町字小坂 590-2、592-1、592-2、593、597-1、597-2の一部、598、620-1、620-2、620-3、621-4、622-1、623、624-1の一部、624-2の一部、625-1、625-3、及び地先 水路・市道

土地利用計画図

埋蔵文化財包蔵地内

本管への接続は支管接続とする。
 管内排水の土盛りは2.0cm以上とする。
 管交差部分は1.0cm以上のクリアランスを確保すること。
 開発協議は最終納付から一次放流先までである。
 街路樹の放流管は樹の角を穴あけしないこと、管を曲げないこと。
 予定建物の用途は（一戸建て住宅）とする。
 開発区域において構造物がない所には境界紙等の開発標識にて区域界の表示とする。
 区域からの汚水は合併処理浄化槽から管内最終納付を経て一次放流先へ放流する。
 本管上での取付間隔は1m以上確保すること。
 図面内の高さの表記は任意高さとし、KBで標高(T.P.表示)換算している。
 電柱を開発道路内に設置しない。
 施工前に地下埋設物の調査を行うこと。
 本開発区域に隣接して本開発許可の完了公告日からみなし年数以内に開発行為を行う場合及び本開発区域内の公共施設を変更する場合は、建築指導課と協議すること。
 電柱を開発道路内に設置しない。
 宅内の水及び土が道路に流出しないように整地をする。
 道路と宅地との境界に1m以上のレベル部分を作ること。
 自由勾配側溝から放流管で放流する場合にはその間に集水樹を設けること。
 各種固材材による地盤改良を行う場合は、六価クロム試験を行う場合は、六価クロム試験を行い試験結果を報告すること。
 開発区域内外における法定外排水については、構造のみを審査対象とする。放流の同意については、管理者と十分に協議を行ってください。

開発許可
年月日

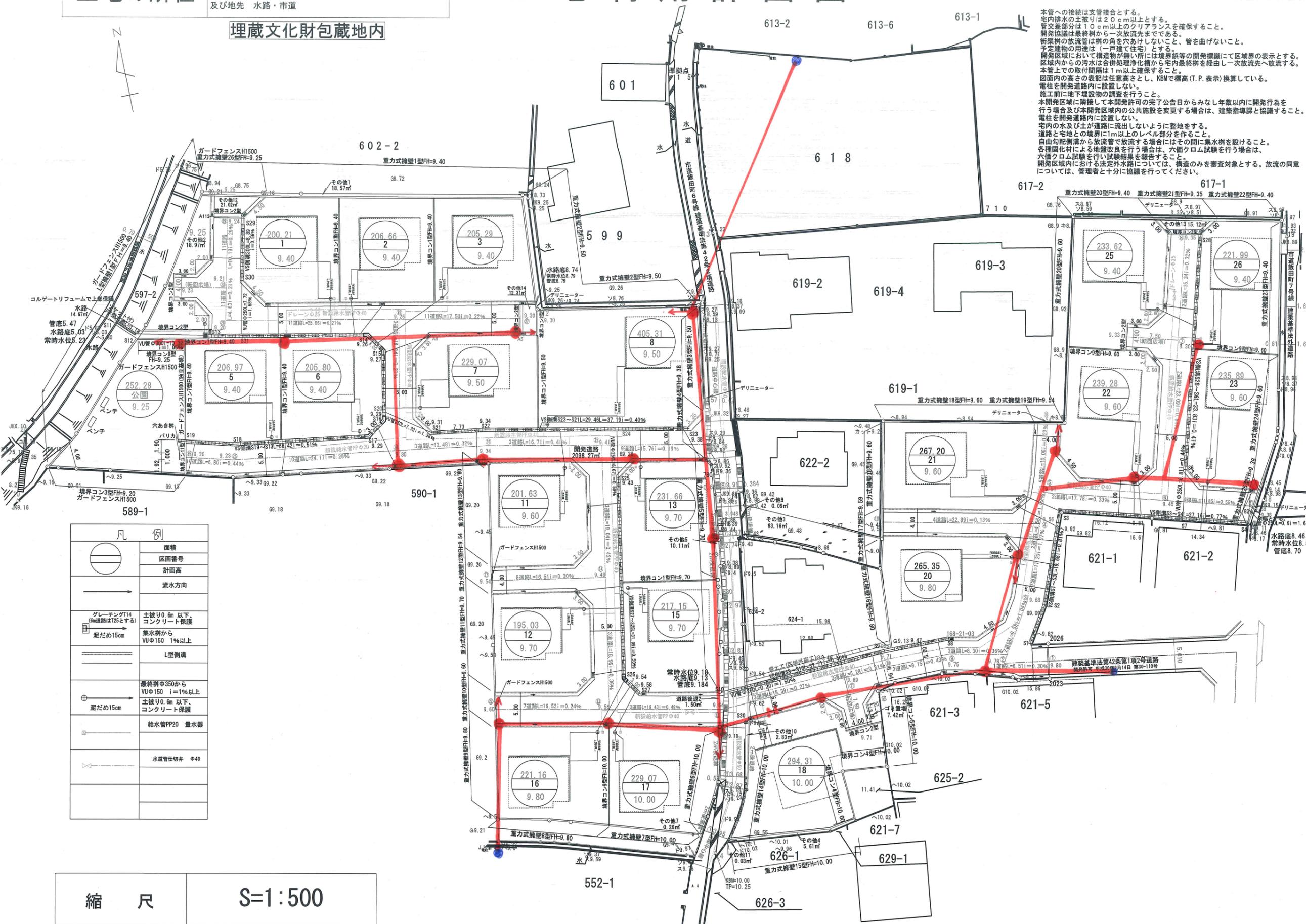
令和6年4月25日
第R6-5号

申請者

アイラックホーム株式会社
代表取締役 増元 浩二

作成者
住所・氏名

高松市仏生山町甲2130番地1
土地家屋調査士
宅地建物取引士
二級建築士
岡野上 竜二 (印)



凡例	
	面積
	区画番号
	計画高
	流水方向
	土盛り0.6m以下、コンクリート保護
	乗水樹からVUφ150 1%以上
	L型側溝
	最終納付φ350からVUφ150 i=1%以上
	土盛り0.6m以下、コンクリート保護
	給水管PP20 量水器
	水道管仕切弁 φ40

縮尺 S=1:500